

# GI

プレミアム

## REPORT

第38回

# レディース チャンピオン

8/7-12 ボートレース福岡



優勝戦1周2マーク



ウイニングラン



### 女子初のSGウイナーの貫録たっぷり 遠藤エミが2年連続3度目の女王に

まさに「最強女子」の称号にふさわしい走りだった。福岡独特のうねりを有する難水面に苦戦する選手が続出する中、堂々たる走りでの圧倒。昨年の津大会に続いて2年連続3度目の大会制覇。2連覇は史上4人目の偉業ともなった。

初日ドリームは6号艇で出番もなく6着スタート。だが前評判の高い18号機を相棒に、着実にポイントを稼いだ。だが今大会最大のハイライトは、3号艇で迎えた予選ラストの4日目10Rだろう。遠藤は前日の1号艇で、小野生奈のまくりに屈してまさかの4着。得点を大きく下げている。だが上

位陣が軒並みポイントアップに苦しむ中、豪快なまくりを決めて1着。1点差で浅田千亜希をかわし、首位通過を決めた。「1マークのうねりは気になったけど、気持ちでまくりました」と持ち前の豪快なハンドルを入れた。

そして1号艇で迎えた準優勝戦。勝てばもちろん、優勝への最短距離となるポールポジションが手に入る。だが遠藤にとって福岡のイン戦は、鬼門だった。2021年のPGIクイーンズクライマックスでは、トライアル3走全て1号艇で迎えたが、まさかの3連敗。昨年10月のGI周年の予選で

準優10R

渡邊が優出一番乗り					
着順	艇番	予想	選手名	進入	ST
1	①	◎	渡邊 優美	1	13
2	②	○	藤原 菜希	2	15
3	③	×	長嶋 万記	3	18
4	④	△	三浦 永理	4	17
5	⑥		川野 芽唯	6	26
6	⑤		山川美由紀	5	21
2連単 ①-②		250円	1番人気	逃げ	
3連単 ①-②-③		620円	1番人気		

準優11R

櫻本がパワーを見せつけた!					
着順	艇番	予想	選手名	進入	ST
1	②	○	櫻本あゆみ	2	31
2	④	△	細川 裕子	4	32
3	①	◎	浅田千亜希	1	19
4	③	×	廣中智紗衣	3	26
5	⑤		大瀧明日香	5	25
6	⑥		原田 佑実	6	25
2連単 ②-④		3060円	10番人気	差し	
3連単 ②-④-①		7410円	24番人気		

準優12R

"節一" 遠藤エミが逃げ完勝					
着順	艇番	予想	選手名	進入	ST
1	①	◎	遠藤 エミ	1	14
2	②	○	浜田亜理沙	2	14
3	⑤	△	土屋 千明	5	16
4	⑥		平山 智加	6	17
5	③		平高 奈菜	3	31
6	④	×	平川 香織	4	22
2連単 ①-②		200円	1番人気	逃げ	
3連単 ①-②-⑤		830円	2番人気		

優勝戦メンバー

予想	艇番	選手名	F・L	モーター			今回成績				
				出	行	伸	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
◎	◎	① 遠藤 エミ		◎	◎	◎	⑥ 六17	①② 五19二14	①④ 四21-09	① 三13	① -14
○	○	② 渡邊 優美		○	○	◎	③ 五15	①① 三04-13	③ 四09	⑤② 六12二09	① -13
	×	③ 櫻本あゆみ		◎	○	○	① 二08	②① 四11六26	④ 三17	②⑤ -17五16	① 二31
△	△	④ 藤原 菜希		○	○	◎	⑤① 六19二13	① 三11	①⑤ 三12五13	① -12	② 二15
×		⑤ 浜田亜理沙		◎	◎	○	① -21	②④ 二11五29	① 三05	③⑤ 六25四11	② 二14
		⑥ 細川 裕子		◎	○	○	④ 四20	①④ 三15-38	③② 五16二11	④ 六21	② 四32

展示速報での採点

12R

- 1 遠藤 エミ ☆☆☆☆★
- 2 渡邊 優美 ☆☆☆☆
- 3 櫻本あゆみ ☆☆☆
- 4 藤原 菜希 ☆☆☆★
- 5 浜田亜理沙 ☆☆☆★
- 6 細川 裕子 ☆☆☆☆

\*当日の携帯・スマホマクセルで配信したものです

優勝戦結果

着順	艇番	予想	選手名	タイム	進入	ST
1	①	◎	遠藤 エミ	1.51.2	1	11
2	②	○	渡邊 優美	1.53.5	2	11
3	③	×	櫻本あゆみ	1.54.7	3	13
4	⑥		細川 裕子	1.55.7	6	16
5	④	△	藤原 菜希	1.56.5	4	09
6	⑤		浜田亜理沙	1.57.6	5	12
2連単 ①-②		230円	1番人気	逃げ		
3連単 ①-②-③		950円	3番人気			

も3着。そして今シリーズでも4着…。勝ち切れない状況が続いた。だが予選トップ通過を決めた意地と、うねりにひるまない度胸でコンマ14のトップS。スリット後に節一級の伸びを誇る土屋千明が果敢に仕掛けてきたが、慌てず騒がず。完璧な逃げを決めて、優勝戦ポールポジションを手にした。そして迎えた優勝戦。4号艇の藤原菜希が伸び仕様で一発を目標んだが「特訓でも(自分が)一番良かったし、気にならなかった。一番出ていると思った」とエンジンの裏付けは十分。トップSこそ藤原に譲ったが、1マークまでに伸び返してあっさりと先マイ。「準備よりもさらに良くなっていったし、足は完璧。最近の中でも一番出ている。落ち着いてターンすることができた」と振り返る、まさに圧巻の逃走劇だった。

終わってみれば「最強女子」の連覇という結果だったが、その道



のりは決して順風満帆とは言えなかった。SG制覇後は記念あつせんが増えたため、男子強豪相手に予選敗退が続いた。勝率も思うように伸ばせずに6点中盤に留まった。選考勝率も、らしくない6位。「ドリームにも選んでもらったのに結果を残せなくて…。力を出せなくて心が折れそうになっていました」と苦悩があった。

それでも今年に入って戸田クラシック、大村オーシャンカップで予選を突破。明らかに「潮目」が変わった。「SGで予選突破できたことは自信になりました。モチベーションも上がっています」。今回の優勝賞金1300万円を加算し、賞金ランキングは女子1位はもちろん、全体でも21位まで浮上した。「グランプリはチャンスがあれば、ですね。ちゃんと稼いで頑張ります」。2度目のグランプリ出場へ、あとひと踏ん張り。年末には一段とたくましくなった姿を見せてくれるはずだ。

我らかく戦えり—

渡邊優美(2着)

優勝戦もエンジンは変わらず頑張ってくれていたと思います。

櫻本あゆみ(3着)

道中で追い上げられたので、いい仕上がりがだったと思います。ターン回りは良かったので、伸びがもう少しあったら…。

細川裕子(4着)

握って回れたので、回り足は良かったと思います。スタートがちょっと分からなかったですね。

藤原菜希(5着)

チルト0.5にハネて伸び型にしていた。仕上がりは良かったけど、もうひと伸びをつけないと。スタートも自分なりに行けた。

浜田亜理沙(6着)

1マークは自分の判断ミス。回り足が良かったし、遠藤さん以外となら差はなかった。

今大会に地元福岡勢は日高逸子を筆頭に、総勢6人が地元タイトル奪取に挑んだ。だが日高はオープンングカードの初日1Rで優先艇保護違反で賞典除外。それでも最終日までの全8走で7度の舟券絡みと奮闘。優勝戦線からは離脱したが、地元選手としてその責務を全うした。

そして優勝の期待を最も背負ったのは渡邊優美だろう。今年のGIIレディースオールスターで女子ビッグ初優勝。次はGI、それも地元開催となれば、気合が入らないわけがない。

だが手にしたモーター75号機は2連対率26%の低調機。それでも猛暑の中で試運転を繰り返し、大粒の汗を流し、入念な調整を施した。その甲斐あって、予選は3位で突破。2号艇で迎えた優勝戦は、遠藤が完璧すぎたため準Vに終わったが、最善を尽くした。「女子で一番強くなりたい」。まだまだ成長途上の渡邊は、この大会ですらにたくましくなったはずだ。



今大会は守屋美穂、田口節子といった大駒が、フライングの影響により出場できなかったが、その分、新興の若手が地力をしっかりとアピールした。GI初出場の平川香織は2日目に初1着をマークすると、勢いそのままに予選も突破。同じく初出場の刑部亜里紗は3日目、4日目には上田紗奈と後藤美翼が水神祭をあげた。

売り上げは目標に届かなかったが、大会は間違いなく盛り上がりを見せた。今年度は2月に浜名湖で新設のスピードクイーンメモリアルも行われる。女子戦線はこれからも大いに盛り上がりを見せていくだろう。

渡邊優美は地元の意地見せた！  
新興勢力も続々と水神祭を達成

私が一番いい仕上がりがだった  
もつと強くなりたいです！

— まずは率直な感想は？  
朝からずっと緊張していたので、ホッとしました。

— スタートはコンマ11。  
途中で少し早いと思って、様子を見ました。

— モーターの仕上がりは？  
私の気配が一番いいなと思っていたので、周りはあまり気にならなかったです。足は本当に良かったです。優勝戦はさらに良くて完璧でした。勝因はエンジン。自分のターンをすれば大丈夫だと思っていました。

— 史上4人目となる大会連覇。  
連覇は意識していなかったですけど、優勝できたことはうれいんです。姉の誕生日だったので、そのためにも優勝したいとは思っていました。

— SG制覇後、記念の出場機会も増えた。  
チャンスをモノにできなくて心が折れかけた時もありました。でもSG(クラシック、オーシャンカップ)で予選突破できたことは自信になりました。モチベーションも上がっています。

— 夏・冬(クイーンズクライマックス)の連覇も？  
意識はないです。また次のレースに集中します。

— 賞金ランキングは21位に浮上。グランプリ出場が見えてきた。  
グランプリはチャンスがあれば



— 頑張ります。  
— 今後の目標について。  
もつと自信を持てるようになりたい。もつと強くなりたいです。



①

- ① レディースチャンピオンとの相性がいい“夏女”櫻本あゆみ
- ② 低調機を立て直し、優出を果たした細川裕子
- ③ 冬夏連覇に挑んだクイーンズクライマックス覇者の浜田亜理沙
- ④ 福岡水面との相性抜群の藤原菜希



②



③



④



⑤



⑥

⑤ ベテラン山川美由紀は粘り強い走りです選を突破  
 ⑥ 長嶋万記はオープニングセレモニーから大会を盛り上げた  
 ⑦ ⑧ 大会初出場です初勝利を挙げた上田紗奈（左）と平川香織（右）



⑦



⑧